禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

D13

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
３級 家具製作 学科試験問題
(家具手加工作業)

1. 試験時間　1時間
2. 問題数　30題
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
      イ.　一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ハ.　答案用紙の解答欄は、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄は100題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

1　家具の機能的分類には、人体系家具、準人体系家具及び収納系家具がある。

2　ビルトイン家具とは、室内に造り付けられた家具のことをいう。

3　いすは、座り心地がよければ強度を考えなくてもよい。

4　家具の形状は、正面図、平面図及び側面図により図示することができる。

5　日本産業規格(JIS)によれば、製図で用いる細い一点鎖線は、想像線として使用される。

6　日本産業規格(JIS)によれば、製図で示される t6 は、板の厚さが 6mm のことである。

7　労働安全衛生法関係法令によれば、ボール盤で穴あけ加工をするときは、手袋を使用することとされている。

8　丸のこ盤の作業中は、送材側の後ろに立ち入ってはならない。

9　板目材には、木表と木裏があり、樹の心側の面を木裏という。

10　熱伝導率は、金属よりも木材の方が小さい。

11　接着剤の可使時間とは、接着作業ができる時間のことをいう。

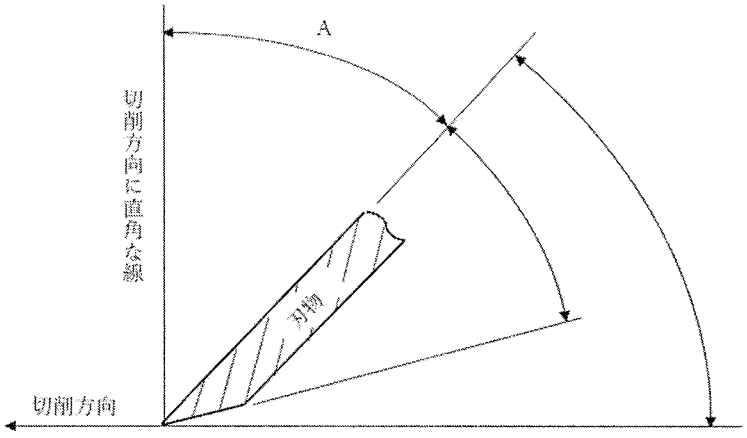
12　ナラは、広葉樹である。

13　木材の天然乾燥とは、木材を桟積み等をして自然に乾燥させる方法をいう。

14　板材の桟積み乾燥を行う場合は、風向きに対して桟木を直角に置いて積むとよい。

15　木材の乾燥速度は、一般に、木材の比重が小さく、厚さが薄いほど遅い。

16　次図のAは、切削角を表す。



17　二枚刃かんなの裏金は、かんな刃が動かないようにするためのものである。

18　のこぎりには、縦挽(びき)きのこと横挽きのこがある。

19　木工工作において、端金(はたがね)は、板のはぎ合せや組立て等に使用する締付け工具である。

20　昇降盤とは、テーブル又は丸のこ軸を昇降させる装置を備え、工作物を手動で送り、切断や溝削りなどの加工を行う木工機械をいう。

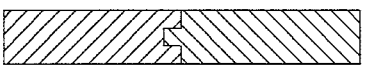
21　角のみ盤等のしゅう動面に使用する潤滑油には、スピンドル油が適している。

22　だぼ接ぎに使用するだぼは、接合部材よりも軟らかい材がよい。

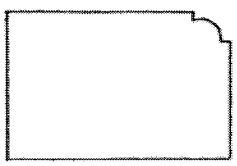
23　かんな削りでは、逆目削りよりもならい目削りの方が削り肌が美しい。

24　硬い材にけ引きによる平行線引きを行う場合は、最初から力を入れてけ引きをかけると引き線が曲がるので、軽く 2～3 回で引くようにするとよい。

25　次図の板はぎは、雇いざねはぎである。



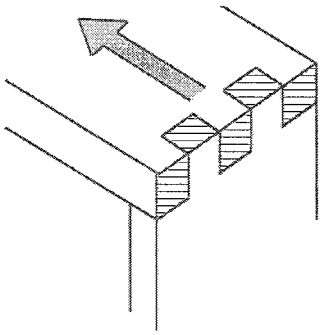
26　次図の面の種類は、ぎんなん面である。



27　ワイピングステイン(拭き取り着色剤)は、一般に、木材の道管を埋めるためよりも木理の着色効果を得るために用いる。

28　一般的に、平かんなで組み手の目違いを仕上げ削りする方向は、次図の矢印の方向である。

平かんな仕上げ削りの方向



29　インセット(内付け)の引出しの仕込みは、塗装仕上げの塗膜の厚みなどを考慮して、隙間の調整を行う。

30　木材をかんなで仕上げる場合、水引き(水拭き)をするのは、仕上げ材が汚れているからである。